

平成20年度前学期 TA 活動報告書

TA	2回生	学校臨床心理専攻	臨床心理学コース
TA 採用教員名	相模健人		
TA 採用授業科目名	教育相談論		
採用延べ時間数	授業科目 A : 28 時間、 授業科目 B : 時間		

【TA 活用内容】

教育相談論においては「現代の学校におけるいじめ、不登校などの問題の対応を教育相談の観点から学ぶ。特に子どもの問題に対して、いかに学校・家庭・地域といった学校システムが連携して対応できるか、その具体的手法について学ぶ」ことを目的としており、学生の、不登校やいじめに対する固定観念について考え直し、それらの問題に対する考え方、態度を身につけることが必要である。TAによるSolution-Focused Approachが活用されたWOWWプログラムを行うことにより、学生の授業意欲が増すことが予想され、TAの活用が求められる。

【TA 活用による教育的効果】

学生から「自分の授業の反省ができた。見守られていることで、快く授業を受けたり、よくしよう、ほめられようと思って授業を受けることができた」、「TAさんに見られている、評価されるということで適度に緊張がうまれて良かったと思います。自ら意見を出そうとする態度につながりました。ほかの授業でのTAさんは出席カードを配るだけということもあったので、一緒に授業に参加している感じがして良かったと思いました」、「WOWWプログラムは初めての経験だったのですが、良かった所を言ってくると「次の講義も頑張ろう！」と、とても効果的だったと思います。また、WOWWプログラムのようにほめて伸ばすことは大切なことだなと感じました」、「きちんと授業態度が評価されていると意識することで、よりグループワークなどに意欲的に参加するようになった。このプログラムは良いと思った」といった学生の感想があり、学生の授業意欲向上に大いに役立ったと考えられる。

【TA 活用上の今後の改善点・課題等】

「WOWWプログラムのことを知らないときでも、何となくねらいみたいなのがうすうす見えていて白々しく感じた。だから逆になかった方が自分にはよかったと感じる」、「常に見られているようで、一瞬たりとも気が抜けない、という気分が少しありました」、「毎回内容が同じような気がしたので、最後の方はあまりききめを感じなかった」といった意見もあり、今後より効果的な活用が求められる。